

みやはら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番17号 ☎086-237-4133

初めての方でも順番予約できます！

「みやはらブログ」も日々更新中！

朝8時から診療しています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00-12:30	●	●	●	/	●	●	/
15:00-18:30	●	●	●	/	●	/	/

中耳炎ご存知ですか？

「耳が痛いよお・・・(;▽;)」これ、中耳炎ですね。ただ中耳炎は痛いものばかりかという、そういう訳ではありません。これも中耳炎の困ったところです。今月号では「中耳炎」についてご案内。

痛い中耳炎は「急性中耳炎」といまして、鼻水のばい菌が鼻から耳に「耳管（じかん）」という管を通して悪さすることでおこります。

急性中耳炎は耳の痛み、発熱、聞こえにくさ、耳がふさがったような感じ等の症状が起こります。耳は敏感なので、この痛みはとても強い。。。

鼻をかめない小さいお子さんによく起こります。

「痛い」といえない0才や1才といった小さいお子さんにおいては鼻水が出ていて、「熱がある」「機嫌が悪い」「夜泣きがひどい」

「夜よく起きる」「食欲がない」「気分のむらが激しい」「やたら抱っこをせがむ」などがサインです。鼻水が出ていてこういう症状があれば小児科で「カゼ」といわれていても念のため耳鼻科で鼻水の治療を兼ねて鼓膜のチェック（耳あかがあって鼓膜が確認できていない場合あり）を受けることをお勧めします。では夜に痛がったらどうするか？救急病院には耳鼻科のお医者さんはいません（耳鼻科医は大変数が少ないのです）ので家に痛み止めがあればそれをのんで、翌日耳鼻科を受診しましょう。よくないのは、市販の痛み止めを飲み続けて痛みをごまかして、耳鼻科を受診しないことです。痛み止めは痛みをごまかすだけで何も治療になっていません。治療をしないとばい菌は死にませんので要注意です。放置していた中耳炎が悪化すると「急性乳様突起炎」といってばい菌が耳のさらに奥に進んで緊急手術が必要な病気になることがあります。



では痛くない中耳炎はなんなのか？これには4つのバリエーションがあります。

一つ目は「滲出性（しんしゅつせい）中耳炎」です。小さいお子さんがなりやすい病気です。主な症状は難聴です。ですので、小さいお子さんは痛くなければ気にしません。「テレビの音が大きい」「何回も聞き返す」「声をかけても反応が鈍い」などお家の方が気になったら早めに耳鼻科を受診してみましょう。また、滲出性中耳炎になっていないかのチェックも兼ねて、幼稚園や保育園のお子さんは3か月に一度耳掃除に耳鼻科を受診することをお勧めします。この滲出性中耳炎の困った点は、小さいお子さんにおいては成長期に難聴が続くこと、痛くないので気づかずに放置する形になると、より難聴が進み癒着性中耳炎になったりします。滲出性中耳炎は耳の奥にあって音を受け止める鼓膜（こまく）という膜の奥の空間（中耳腔：ちゅうじくう）に体液がたまるのが原因なので、治療としては鼓膜を数mm切開して体液を吸い取ります。これよくならなければ鼓膜に土管のようなチューブを置いて体液が中耳腔にたまらないようにします。この状態になりますと、一年はチューブを鼓膜に置いたままにしますが、大人の場合はずっと置かないといけない場合もあります。

LINEアカウントのお友だちを募集中♪



お得なクーポンやお役立ち情報をLINEでお届け！！



LINEの『QRコード』又は『ID』で登録して下さい！ ID:@ment

痛くない中耳炎の二つ目は癒着性中耳炎です。

これは鼓膜がへっこんでしまうので逆に難聴がなくなってしまいます。それで患者さんの症状が消えてしまってさらに時間がたつと「真珠腫（しんじゅしゅ）性中耳炎」にさらに進む場合があります。



滲出性中耳炎の症状

痛くない中耳炎の三つ目は慢性中耳炎です。

急性中耳炎を繰り返しているうちに鼓膜に穴が残ってしまい、ばい菌が耳の中に入るたびに耳だれを繰り返し難聴が進んでいく病気です。耳だれを中途半端な治療しか受けていないと、薬が効きにくいばい菌がでてきたりしてやっかいなことになります。難聴が進んでから治療を受けても、鼓膜の穴は閉じてても難聴は回復しないこともあり、耳だれが出ていたら放っておかずに早めに耳鼻科を受診しましょう。

痛くない中耳炎の四つ目は真珠腫性中耳炎で、これはやっかいな中耳炎です。手術が必要になりますが、真珠のような塊が病気の素なのですが、これを取り切れないと取り残した場所から再発することがあります。ですので、場合によっては病気が進んでいると手術を半年くらいあけて2回行い、2回目の手術で取り残しがなければ聞こえをよくする手術を合わせてするというような非常に治るまでの期間が長くなったり、手術が成功しても再発する可能性があるため数年以上定期的に耳鼻科を受診しなくてはなりません。耳の手術は細かいがために逆に数週間入院が必要なこともあり、真珠腫性中耳炎になったりすると、「治った」状態になるまでに最低でも数年以上かかります。真珠腫性中耳炎には生まれつきあるタイプもありこれは小さいお子さんにおこります。真珠腫性中耳炎は進行すると、顔面神経のマヒが起こったり、めまいを起こしたりすることもあります。検診で聴力が「要検査」になった場合は放置せずに耳鼻科を受診して聞こえや鼓膜に問題がないかチェックしてもらいましょう。

「中耳炎」といってもいろんなバリエーションがあるのがお分かりいただけただけでしょうか？耳の痛みだけでなく、聞こえにくさや耳のつまった感じ、耳だれそういった症状があれば早めに耳鼻科で相談することをお勧めします。

睡眠時無呼吸症候群



この病気のコワイところ

- 寝不足からの病気（高血圧や心臓病）や、
- 注意力低下による交通事故を起こしやすいです。

当院の検査や治療のメリット

- 自宅で検査や治療が可能です。病院へ通院する必要はありません。
- 治療開始後、すぐに病気の改善が可能！